

健康ワンポイントアドバイス

発行：十日町市中魚沼郡医師会

発行日：令和3年7月発行

第228号



新型コロナウイルス肺炎についての考察

医療法人社団 本町クリニック

院長 高橋 修一 先生

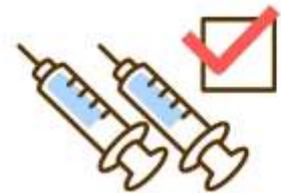
記録破りの小雪でのんびり迎えた令和2年は新型コロナウイルス感染で幕が開きました。中国の武漢で発生した肺炎は瞬く間に全世界に広がり、中でも豪華客船ダイヤモンド・プリンセス号の船内に広がった感染は深刻で世界中から集まった3000人の乗客が新型コロナウイルスの恐怖にさらされて2週間以上も上陸できず狭い船室内に閉じ込められてしまいました。あれから1年が過ぎ新型コロナウイルスは次々に変異しながら強力化しています。感染力も破壊力も強くなり、多くの人の命を脅かしています。志村けんさんや岡江久美子さんもその犠牲になりました。1年以上続いている自粛生活の中で生活習慣病が急増して、コロナ太りやコロナうつ、コロナ自死も深刻です。また癌検診もなかなか進まず大腸癌、胃癌、肺癌、乳癌や子宮癌の早期発見の遅れに日本癌学会は警鐘を鳴らしています。健康被害はもとより、人が動かないと経済は成り立ちません。お金が動かないと社会がうまく回ってくれないのです。Go To トラベルは1兆円の経済効果はあったもののコロナ感染者が爆発的に増えたため医療崩壊が懸念されてあえなく断念。結局マイナス効果に終わりました。なかでも接客業界の被害は甚大ですが3密になりマスクを外しての会食で多くのクラスターが発生しているのでやむを得ないのかも知れません。

そんな中、4月から全国的にコロナのワクチン接種が始まりました。パソコンやスマホが苦手な人には電話が繋がらなくて予約をするのも一苦勞のようですが十日町は市の主導で案内が来るので混乱もなくスムーズに接種が行われています。市の作戦では高齢者は10月までの予定でしたがある日突然菅首相が「高齢者は7月までに2回接種」と無責任な宣言をしたからさあ大変。現場は大幅な期間短縮を余儀なくされててんでご舞い。今まで散々後手に回ってひんしゅくを買ってきた首相が今回ばかりは何が何でもオリンピックに間に合わせようと全国自治体に脅しの電話をかけたり、大都市に大規模接種会場を設営して自衛隊まで動員したりしてひたすらワクチン接種を急がせています。挙げ句の果てはオリンピックに日本の医師が参集できないなら外国から医師を招へいすると

まで豪語しています。逼迫した医療状況の中で日々薄氷を踏みながらコロナ最前線で戦っている我々日本の医療関係者を何だと思っているのでしょうか。コロナで亡くなっていく人を横目で見ながら「金メダル獲得万歳」とでもいうのでしょうか。やるせない気持ちです。それはともかくワクチン接種は国家的事業です。7割の人がワクチン接種で免疫を獲得すればコロナの封じ込めに成功します。社会的責任もふまえて一人でも多くの人からワクチンを打っていただき一日も早く平穏な日常生活が戻る日が来ることを祈っています。逼迫した医療情勢を考慮されて、出来ればきものまつりや大地の芸術祭などで来市される方にはワクチン接種証明書かPCR検査陰性証明書の提出を是非義務づけてもらいたいものです。



接種済



接種済

